

平成28年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

2月26日(金)

(代表質問)

- | | | | | | | |
|-----|----|-----|----|----------|--------|---|
| (1) | 山崎 | 雄史 | 議員 | (真誠会) |P | 1 |
| (2) | 尾倉 | あき子 | 〃 | (公明党) |P | 2 |
| (3) | 中西 | 礼皇 | 〃 | (未来創造明石) |P | 3 |
| (4) | 辻本 | 達也 | 〃 | (日本共産党) |P | 4 |
| (5) | 宮坂 | 祐太 | 〃 | (民主連合) |P | 5 |

(一般質問)

- | | | | | | | |
|-----|----|----|---|---------|--------|---|
| (6) | 楠本 | 美紀 | 〃 | (日本共産党) |P | 6 |
| (7) | 尾仲 | 利治 | 〃 | (民主連合) |P | 7 |
| (8) | 穂原 | 成人 | 〃 | (真誠会) |P | 9 |

2月29日(月)

- | | | | | | | |
|------|-----|----|---|----------|--------|----|
| (9) | 国出 | 拓志 | 〃 | (公明党) |P | 10 |
| (10) | 丸谷 | 聡子 | 〃 | (未来創造明石) |P | 11 |
| (11) | 永井 | 俊作 | 〃 | (市民クラブ) |P | 14 |
| (12) | 遠藤 | 恒司 | 〃 | (自由民主党) |P | 16 |
| (13) | 家根谷 | 敦子 | 〃 | (スマイル会) |P | 18 |
| (14) | 坂口 | 光男 | 〃 | (真誠会) |P | 19 |

3月1日(火)

- | | | | | | | |
|------|-----|-----|---|---------|--------|----|
| (15) | 梅田 | 宏希 | 〃 | (公明党) |P | 20 |
| (16) | 寺井 | 吉広 | 〃 | (真誠会) |P | 22 |
| (17) | 松井 | 久美子 | 〃 | (公明党) |P | 23 |
| (18) | 井藤 | 圭湊 | 〃 | (真誠会) |P | 24 |
| (19) | 佐々木 | 敏 | 〃 | (公明党) |P | 26 |
| (20) | 北川 | 貴則 | 〃 | (市民クラブ) |P | 27 |

※順位等については、予定です。

平成28年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	山崎雄史(真誠会)
発言事項	<p>1 平成28年度当初予算の基本的な考え方について</p> <p>(1) こどもを核としたまちづくりの重点的な取り組みについて</p> <p>(2) 「住みたい・住み続けたい」と思われる、選ばれるまちづくりについて</p>		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p>1 保育料の第2子以降の完全無料化について</p> <p>(1) 保育料の第2子以降の完全無料化に要する財源はどのように確保したのか。また、このたびの国・県の保育料補助制度拡充による本市の負担軽減額はどの程度か。</p> <p>(2) 保育料の第2子以降の完全無料化は、こども医療費無料化と並んで子育て世帯の負担軽減策として大変重要な施策であるが、持続可能な制度とするために、今後どのようなことが考えられるのか。</p> <p>2 明石市子育て世代包括支援センターの取り組みについて</p> <p>(1) 妊娠期から育児までの支援をワンストップで切れ目なく行う日本版ネウボラとして、子育て世代包括支援センターの設置が考えられるが、本市の取り組みを聞く。</p> <p>(2) 特定妊婦への取り組みについてはどのように考えているのか。</p> <p>(3) 誰もが安心して出産・子育てができ、必要な時に必要な支援を受けることができるよう市民への周知徹底をどう図るのか。</p>		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	中西 礼 皇 (未来創造明石)
発言事項	<p>1 市のPR事業に戦略性が欠けることについて</p> <p>(1) シティセールスの取り組みについて</p> <p>(2) ブランド化の取り組みについて</p> <p>2 行き過ぎた無料化施策について</p> <p>(1) 第2子以降保育料無料化の影響について</p> <p>(2) 無料化施策による他事業への影響について</p>		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 市役所庁舎の建て替えについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 現在の市役所本庁舎が抱える課題と建て替えの必要性について(2) 庁舎建設基金について(3) 最終決定の時期と方法について <p>2 住民投票条例について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 「違憲状態」解消に向けた取り組みについて <p>3 教育環境の充実について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 不登校の現状と対策について(2) 小中一貫校について(3) 30人学級の拡大について		

(代表質問)

発言順位	5	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 中核市への移行について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 市民サービスの向上について(2) 保健所の設置について(3) 児童相談所の設置について <p>2 国民健康保険の広域化について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 広域化の動向について(2) 広域化後の保険料の算定方式について		

発言順位	6	議員名	楠本 美紀(日本共産党)
発言事項	1 子ども・子育てについて		
	<p>(1) 明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画(案)について (要旨) 市民や保護者の反応、パブリックコメントの結果、子ども・子育て会議での意見、待機児童解消に向けた保育所増設との整合性は。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。</p> <p>(2) 二見認定こども園について (要旨) 職員の資格、職員のクラス配置、職員の処遇はどうなっているのか。</p> <p>(3) 保育所・放課後児童クラブの待機児童解消について (要旨) 保育所・放課後児童クラブの待機児童を解消するためには、施設の確保も必要ですが、保育士・指導員の不足が大きな問題となっています。保育士・指導員確保に向け、処遇面の改善はどうなっているのか。</p>		
発言事項	2 介護保険施策について		
	<p>(1) 総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)について (要旨) 要支援1・2の方が介護予防訪問介護・介護予防通所介護のサービスが使いなくなり、住民やボランティア、介護事業者、NPOなどの多様なサービスを利用することになると思われるが、現行サービスの質・量の確保はできるのか、実施の見通しはどうか問う。</p>		
	<p>(2) 要介護認定に至らない高齢者の増加について (要旨) 高齢者が介護サービスを申請し、窓口の職員がチェックリストにより要支援相当と判断した場合は、要介護認定を経ずに多様なサービスを割り振ることが可能になりますが、要支援相当の人を大量に多様なサービスへつなげていくことにならないか。</p> <p>(3) 地域包括支援センターの整備について (要旨) 機能強化型地域包括支援センター、地域包括支援センターの役割はどこが担うのか。市民にとって利用しやすく、公平性、透明性が担保できるような仕組みが必要だと考える。</p>		

発言順位	7	議員名	尾仲利治(民主連合)
発言事項	<p>1 平成29年度に保育所の待機児童ゼロを実現することについて</p> <p>(1) 待機児童ゼロを達成するために新年度はどのように取り組むのか。 (要旨) 新年度の主たる取り組みの中に受け入れ枠を1,000人拡大するとあるが、どのように取り組むのか。</p> <p>(2) 待機児童ゼロを実現し、第2子以降の保育料を無料にするということは、将来の明石市にとってよいことなのか。 (要旨) 財政健全化を目指しているが、第2子以降の保育料を無料にすることは、市民の負担の公平性が保たれるのか。メリット・デメリットを明確に示されたい。</p> <p>(3) 将来どのようにして認定こども園を拡大しようとしているのか。 (要旨) 待機児童ゼロを実現し、それを持続させるにはさまざまな工夫や明石市独自の制度が必要と考える。本市の将来を考えた場合、認定こども園が一つのポイントと考えるが、どのようにして拡大していこうとしているのか。</p>		
	<p>2 児童生徒が生き生きと学ぶことができる環境づくりについて</p> <p>(1) 中学校給食導入の今後の日程は。 (要旨) 東部中学校給食センター建設予定地から産業廃棄物が大量に出てきたことにより、日程が予定より遅れているが、中学校給食を完全実施するための今後の日程を問う。</p> <p>(2) 栄養士についての取り組み状況は。 (要旨) より安心安全な中学校給食を実現するためにも、各中学校に栄養士を1名は配置すべきと考えるが、その取り組み状況をお伺いしたい。</p> <p>(3) アレルギー対策のためのマニュアルの取り組み状況は。 (要旨) 教育委員会として、アレルギーを持つ生徒への対応をどのように考えているのか。当面の対応と、中学校給食が実現し、安定した給食が実施されるようになった場合の対応を聞く。</p> <p>(4) 平成28年度の学校エレベーターの設置計画について (要旨) 障害者差別解消法が本年4月1日より施行されて、地方公共団体においては、法的義務として、障がい者に対して合理的な配慮を行わなくてはならないが、教育委員会はどのように考えているのか。</p>		

発言順位	7	議員名	尾 仲 利 治 (民 主 連 合)
発 言 事 項	<p>(5) 義務教育学校の設置をどのように考えているのか。 (要旨) 教育委員会は小中一貫校をどのように考えているのか。考えているとすれば、その計画は。</p> <p>(6) 中学校の特別教室への空調設備設置について (要旨) 中学校にはさまざまな特別教室があり、現に授業で使用している。小中学校の空調設備の設置は大変よいが、中学校の特別教室への設置は音楽室だけというのはいかがなものか。音楽室以外の特別教室に空調設備を設置する計画はあるのか。</p>		
	<p>3 明石市に文化芸術は根づいたか</p> <p>(1) 行政として取り組む文化芸術は市民に根づいたか。 (要旨) 行政としてさまざまな形で文化芸術事業に取り組んでいるが、市民にどのように根づいているのか。</p> <p>(2) まちづくりの中に文化芸術的要素は生かされているのか。 (要旨) まちづくりの中に文化芸術的要素を取り入れることは大切であると考えますが、どのように生かされているのか。</p> <p>(3) 「本のまち明石」としての文化は生かされているのか。 (要旨) 本のまち明石をさまざまな形で市民に啓蒙しているが、今後の方策を聞く。</p>		

発言順位	8	議員名	穂原成人(真誠会)
発言事項	1 生産緑地制度について		
	(1) 制度導入へのこれまでの取り組みと経緯について (要旨) 平成23年度より取り組んでこられたが、諸問題の解決策や関係者との協議内容でいまだ解決できていないものがあるのか。また、問題点はどのようなものがあるのかなど、不明な点がある。		
	(2) 今後の取り組みについて (要旨) 1日も早い導入を望む声がある中、予定時期もいまだわからない状態である。早期の実施を望む立場から、今後この問題にどのように取り組もうと考えているのかを聞く。		
2 空き家対策について			
(1) 本市の空き家対策の考え方について (要旨) 空き家調査を実施した結果、危険家屋に対する措置は進みつつあるが、その他、集落の継続を図る意味でも、他の施策も必要ではないかと考えるが、市の考えを聞く。			
(2) 空き家バンクの創設について (要旨) 現存するものを有効利用することを考え、将来の財政負担軽減と、旧来よりの集落のにぎわいづくりにも効果がある対策と考えるが、市の考えを聞く。			
3 小中学校の教育について			
(1) 習熟度確認の時期と対策について (要旨) 小学校1年時が重要と考えるが、どのような調査を行い、どのような時期にどのような対策をとっているのかが見えてこない。			
(2) 不登校の児童生徒の人数とその理由の把握、対策ができているのか。 (要旨) 理由がわからなければ対策が取れないと考える。			
(3) 問題行動などで指導困難な生徒の通学制限について (要旨) 通学制限があるのではないかと聞いたことがあるが、実態はどうか。義務教育である以上、何らかの対策が必要と考える。			

発言順位	9	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 夜間休日応急診療所の診療科目に歯科を設けないか</p> <p>(1) 夜間休日応急診療所の診療科目に歯科を設けないか。 (要旨) 夜間等に緊急の歯科治療を行えるような医療機関が市内に1カ所もありません。市民の命は市が責任をもって守るという気概と努力、そして、そのための体制整備はぜひとも必要ではないか。</p> <p>2 デマンド型乗合タクシーを市内に導入しないか</p> <p>(1) デマンド型乗合タクシーを市内に導入しないか。 (要旨) 通院や買い物など、暮らしを支える交通手段として導入しないか。</p> <p>3 災害時に避難所となる小・中学校の敷地に井戸を掘らないか</p> <p>(1) 災害時に避難所となる小・中学校の敷地に井戸を掘らないか。 (要旨) 避難所には、多くの市民の皆様が避難を余儀なくされる可能性がある。その際に、もし避難している小・中学校の敷地内に井戸があり、すぐさま水が利用できるとすれば、大変助かる。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子 (未来創造明石)
発言事項	<p>1 市民活動の支援について</p> <p>(1) 協働のまちづくり推進条例施行後の市民活動支援策について (要旨) 本年4月から施行される協働のまちづくり推進条例では、市長の役割として、市民との円滑な連携を図るため、市民活動への支援を行うものとする明記されている。条例を受けて具体的にどのような支援をしていくのかを問う。</p> <p>(2) 市民活動の交流拠点について (要旨) 協働のまちづくり推進条例第16条には、市長等は、市民に対し、市民活動を行うための場の提供に努めるものとする規定されている。市長の公約にもありながら、市民活動を行うための場の提供が先延ばしになっている。市内全体としての市民活動交流拠点の設置については、早急な対応が必要であると考えているが、具体的にどこに設置するのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 市民活動の場づくりのプロセスについて (要旨) どのような場をつくっていくかは、市民と対話しながら協働で進めていくべきものであると考えているが、どのように市民や市民活動団体の声を聞き、ニーズを把握していくのか。また、スペース、機能についてどのような構想をもっているのかを問う。</p> <p>(4) 今後の展開について (要旨) 市民活動団体と一口に言っても、多様な団体が存在する。これらの団体が行政の枠を超えて協働していくためには、生涯学習や男女共同施策との連携など、新しい発想や概念での施策展開が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>2 花と緑の学習園を活用した環境教育の推進について</p> <p>(1) 花と緑の学習園の現状と課題について (要旨) JR西明石駅北側に位置する花と緑の学習園は、平成2年4月に開園以来、市民が緑に触れ合い、学び、楽しむ学習拠点としての役割を担っているが、その現状と課題を問う。</p> <p>(2) 市民が求める学習園のあり方について (要旨) 本市の花と緑の学習園は、交通の利便性もよく、図書コーナーや研修室等の施設もあり、市街地の中にあつて身近な自然に安全かつ気軽に触れることができる数少ない貴重な場所である。今後は、園芸だけでなく、緑と生き物のつながりと次世代の育成を意識した学習園のあり方が求められていると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子（未来創造明石）
発言事項	<p>(3) 環境体験事業（市内全小学校3年生で実施）を初めとする環境教育の推進機能の強化について （要旨）近隣小学校の環境体験事業の導入部分となる五感体験を学習園で行えないか。また、緑化相談員の配置もあることから、環境体験学習を支える拠点としてのコーディネート・サポート機能への展開ができないか。そのためには、地域支援者登録制度、スキルアップの養成講座、ネットワーク・交流の場づくりなど、市民との協働を推進する仕組みが必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>3 （仮称）こども総合支援条例の策定について</p> <p>(1) （仮称）こども総合支援条例の目的について （要旨）新年度予算案において、（仮称）こども総合支援条例の策定があげられているが、どのような条例を策定しようとしているのかを問う。</p> <p>(2) 条例制定の過程と子どもの参画について （要旨）新年度予算案として41万円を計上しているが、具体的にどのような場で検討、議論されていくのか。そのプロセスにおいて子どもたちの意見を聞くところから始めるべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) （仮称）こども総合支援条例の具体的な内容について （要旨）子どもたちの自己肯定感を高めるためには、子どもが幸せを感じながら生きる権利を日常生活の中で具体的に大切にしていけることが何より重要である。そのためには、川西市が既に実施している「子どもの人権オンブズパーソン」の設置等、効果的な救済につながる相談や救済活動を初めとする子どものSOSを受け止める環境づくりが必要であると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子（未来創造明石）
発言事項	<p>4 明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画（案）について</p> <p>(1) 公立幼稚園の就学前教育等をどのように検証、評価され、反映されているのか。</p> <p>(2) 施策の推進において基本となる明石市の幼児教育の指針などはあるのか。</p> <p>(3) 認定こども園では、現在の公立幼稚園と同じように外部の評価等が実施されるのか。</p> <p>(4) 教員の質の向上のための研修や研究は継続できるのか。</p> <p>(5) 教育現場の最重要課題は子どもの安全対策だが、民間に移管した場合はどうなるのか。</p> <p>(6) 重度障害児、発達障害児の対応はどうか、障害のある子どもを自宅から離れた認定こども園に通園させるのか、つくしの部屋、ことばの部屋はどうか。</p> <p>(7) 小学校との連携強化をどのように進めていくのか。</p> <p>（(1)～(7)の要旨）本市は小学校が新設されると、必ずその敷地内に公立幼稚園も新設されてきた歴史がある。こうした小学校と密接な連携の中で行われる4歳児、5歳児保育は、他市からも注目され、本市が全国に誇れる施策である。</p> <p>ところが、このたび示された明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画（案）では、本市が大切にしてきた財産を手放そうとしているとしか思えない計画になっている。</p> <p>本年4月に開園予定の幼保連携型認定こども園（二見こども園）についても専門家の指導を仰ぎながら検証を行い、時間をかけて慎重に進めるべきである。また、保護者や地域から不安の声を多く聞いていることから、小学校区に一つの公立の幼稚園型認定こども園設置という選択肢も視野に入れて、丁寧に議論を重ねて進めていくべきと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発言事項	<p>1 障がいがある職員が働き続けられる市役所づくりについて</p> <p>(1) 障がい者が生き生きと働ける環境づくりについて (要旨) 業務について、本人の希望や向き不向きを踏まえて、どのような業務を選定するのか。本人が仕事を通じて自分は頼られていると感じ、達成感や充実感を得ることができるような環境づくりを目指すための取り組みを聞きたい。</p> <p>(2) 業務の研修やサポート体制について (要旨) 具体的な業務内容の説明や研修をどのように進めていくのか、どのようにサポートしていくのか。また、職員の意識改革の取り組みはどうか。</p> <p>(3) 就労状況の検証について (要旨) 上司や同僚のヒアリングだけでなく、本人からの聞き取り調査などを定期的実施し、改善していくことが大切だと思うが、どうか。</p>		
	<p>2 市民文化活動並びに生涯学習について</p> <p>(1) 生涯学習センター分室と市民文化活動について (要旨) 市立図書館にある生涯学習センター分室は、文化団体や文化サークルの活動の場としていつまで使用できるのか。引き続き使えないのか。代替の場所について検討しているのか。</p> <p>(2) あかねが丘学園の活動拠点について (要旨) ボランティアとして地域活動を支えているクラブ活動やサークルが練習・交流するスペースを常時確保することが不可欠である。さらに今後、高齢化が進み、生涯学習を希望する市民が増加した場合、生涯学習センターでは狭く、代替施設が必要である。</p>		
	<p>3 明石市新総合事業の介護予防・生活支援サービス事業について</p> <p>(1) 介護予防の利用状況並びに給付費等の現状と今後について (要旨) 介護保険制度が改正され、平成29年度から要支援1・2の要支援者向けの訪問介護や通所介護が市に移行されるが、現状と今後の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 明石市新総合事業の新サービス事業の基準や設定単価、指定の考え方について (要旨) 新総合事業の通所型・訪問型の現行サービス、サービスA型、B型、C型の基準や設定単価、指定(委託・補助等)についての考え方を聞きたい。</p>		

発言順位	11	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発言事項	<p>(3) 介護予防・生活支援サービス事業を提供するNPOやボランティアの育成・確保について (要旨) 介護予防・生活支援サービスA型やB型を提供するNPOやボランティアをどのように育成し、確保していくのか。</p> <p>4 学校給食の公会計への転換について</p> <p>(1) なぜ、公会計へ転換しないのか。 (要旨) 小学校給食は、学校給食会が年間予算約8億円で給食食材の購入や給食費の徴収管理などの事業を行っている。本来は、適切な給食運営がなされているかを議会がチェックできるようにすべきである。</p> <p>(2) 学校給食運営の透明性並びに効率性等について (要旨) 明石市自治基本条例では、市政運営は公正で透明であること、効果的で効率的であること、施策に評価を行うこととうたわれているが、認識を聞きたい。</p> <p>5 明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画(案)と待機児童ゼロについて</p> <p>(1) 3歳未満の待機児童の受け入れについて (要旨) 待機児童のほとんどが3歳未満児である。3歳未満の待機児童の受け入れ対策を聞きたい。</p> <p>(2) 認定こども園の問題点や課題について (要旨) 実績が少ない認定こども園で、幼児教育と保育について今までのように先導的役割を担えるのか。</p> <p>(3) 文部科学省が検討している5歳児の義務教育化と幼稚園の廃止との整合性について (要旨) 文部科学省が検討している5歳児の義務教育化が実施された場合、幼稚園の廃止について市民の理解が得られるのか。</p> <p>(4) 市立保育所の廃止による問題点について (要旨) 市立保育所を廃止して待機児童をゼロにできるのか。保育士の確保や保育の質を確保できるのか。</p> <p>(5) 保育の第三者評価システムの実施について (要旨) 保育サービスの質の向上のため、保護者を含めた第三者評価システムを実施するべきではないか。</p>		

発言順位	12	議員名	遠藤 恒司 (自由民主党)
発言事項	<p>1 新年度予算執行にかかる基本的な考え方について</p> <p>(1) 重点的な取り組みとその実現に向けての主要施策について (要旨) 関西唯一の人口V字回復をうたい、総合戦略の重点項目、人口30万人、出生数年間3,000人、本の貸し出し冊数年間300万冊とあるが、人口増と直結させるためには、市長の取り組む姿勢と関連する各事業が最も重要ではないか。具体的に有効となる事業が必要と考えるが、実現可能な施策を聞く。</p> <p>2 市役所庁舎の建て替えの考え方について</p> <p>(1) 建設予定地について (要旨) 現在の場所で建て替えるのか、それとも新しく用地を求めるのか。</p> <p>(2) 新庁舎のタイプについて (要旨) 新庁舎はどのようなものを考えているのか。</p> <p>(3) 財源はどのように考えているのか。 (要旨) 新庁舎建設にはどの程度の費用を見込んでいるのか。また、現在の建物を処分した場合、どのくらいの価値を見込んでいるのか。これらの検討ができていない段階での市長のリップサービスが地域に誤解を与えるのではと憂慮する。</p> <p>3 財政健全化の取り組みについて</p> <p>(1) 公共施設の適正化について (要旨) 公共施設の全体の評価額について聞く。また、公共施設の適正化を検討しなければならないが、適正の基準とはどの程度と考えているのか。作業の実行にはスクラップアンドビルドの考えが大切と考えるが、どの程度の本気度があるのか。</p> <p>(2) 公共施設の老朽化の認識とこれからの取り組みについて (要旨) 以前に一般質問したが、その後、その財源と更新計画はどの程度進んでいるのか聞きたい。 老朽化の度合いはそれぞれであるが、安心・安全の観点から近い将来必要となってくることは確かであり、できる限り早期に対応しておく必要がある。</p> <p>(3) 指定管理者制度の活用について (要旨) できる限り民間活力の活用を図っていくものと認識しているが、現状で民間から期待していた以上の提案はあるのか。</p>		

発言順位	12	議員名	遠藤 恒司 (自由民主党)
発言事項	<p>4 市職員の中途採用について</p> <p>(1) 専門職職員の採用について (要旨) 市役所における課長の役割は非常に大切であると認識している。特殊な分野の採用と理解しているが、課長待遇での採用スキルについて、市が希望するようなものになっているのか。また、新規採用者との関係はスムーズに行っているのか。</p> <p>5 社会的に弱い立場の子どもと高齢者の貧困について</p> <p>(1) 子どもと高齢者の貧困に対する本市の状況と取り組みについて (要旨) 15～20パーセントの子どもと高齢者が貧困状態に陥っていると聞いている。本市の状況と取り組みについて聞きたい。</p>		

発言順位	13	議員名	家根谷 敦子 (スマイル会)
発言事項	<p>1 ヘルプマークとヘルプカードについて</p> <p>(1) ヘルプマークとヘルプカードについて (要旨) 東京都が考案したヘルプマークやヘルプカードの普及が広がっているが、本市での導入についての考えを伺う。</p> <p>2 身体障害者補助犬について</p> <p>(1) 相談窓口について (要旨) 障害のある人のうち、盲導犬を初めとする補助犬の利用状況を伺う。また、現在の相談窓口は兵庫県であるが、本市が中核市となれば、補助犬の相談窓口も本市へ移譲されるのか。</p> <p>3 高齢者の社会参加促進について</p> <p>(1) 高齢者の社会参加促進に向けた新たな取り組みについて (要旨) 高齢者が生き生きと地域で暮らすことのできる取り組みとして、新年度予算案に計上されている高齢者パスポート制度やシニア活動応援事業等の項目について伺う。</p>		

発言順位	14	議員名	坂口光男(真誠会)
発言事項	<p>1 平成27年度補正予算案及び28年度予算案にみる明石市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容・取り組みについて</p> <p>(1) 明石創生の基本的な方向性と目標について (要旨) 人口30万人、出生数3,000人/年、本の貸し出し冊数300万冊/年とするトリプルスリーについて、環境整備をすればそれなりの効果はあると認めるが、はっきりとした数値を設定した以上、その目標に達するプロセス・効果について問う。</p> <p>(2) 国、県の平成27年度補正予算を活用する事業はあるのか。 (要旨) 厳しい財政状況のもと、明石創生に資する国、県の補正予算を積極的に活用すべきと考える。</p> <p>(3) 子育て応援施策における放課後児童クラブの待機児童の解消策について (要旨) 施設、指導員不足により待機児童が生じている小学校がある。今後の見通しと対応策について問う。</p> <p>(4) 高齢者福祉施策について (要旨) 高齢者の福祉施策については、年金・医療・介護に偏りがちであるが、ますます高齢化が進む社会で元気で生き生きと、生きがい・やりがいを享受できるシニア社会を創生していくことについての認識を問う。</p> <p>(5) 西明石活性化プロジェクトへの取り組みについて (要旨) 地域と行政による「まちづくりの姿」の提言に沿い具現化を図るため、計画策定委員会の設置を行政が主体となって行うことになっているが、めどがたっていない。この取り組みは、地域の活性化、にぎわいに寄与する明石創生に資するものだけに行政の真摯な取り組みが期待されるものであり、平成28年度の取り組みについて問う。</p>		

発言順位	15	議員名	梅田宏希(公明党)
発言事項	<p>1 動物と共生する愛情豊かなまちづくりについて</p>		
	<p>(1) 地域猫活動の取り組みについて (要旨) 平成22年4月に市民から地域猫対策の要望を受けた市は、平成23年度から猫の去勢・不妊手術に対する助成制度を設けて5年目になりました。これまでの取り組みと課題について、市の考え方を教えてください。</p> <p>(2) 市と地域とボランティアの協力体制について (要旨) 動物と共生するまちづくりには、行政・地域・ボランティアが共通認識を持って、全市的な取り組みを進めることが大きな効果を生むと思いますが、市の考え方を教えてください。</p> <p>(3) 市民への広報と拡充のための基金設置について (要旨) 市ホームページ、地域猫活動パンフレット等の広報、そして公園や海岸等の啓発看板の内容を動物愛護管理法に沿った内容に統一するなど、現時点で実行可能な取り組みを行うことについての考え方を教えてください。また、広報効果が進めば補助金不足が懸念されるが、動物愛護基金の設置について、市の考え方を教えてください。</p> <p>(4) 中核市移行と動物愛護のまちづくりについて (要旨) 2月15日発行の広報あかしに「動物とともに暮らしやすいまちに」と題して大きく広報されたことは一歩前進と評価します。中核市移行時には、「殺処分ゼロのまち」への取り組みを実現したいと思いますが、市の考え方について教えてください。</p>		
<p>2 ふるさと納税について</p>			
<p>(1) 明石市のふるさと納税に対する取り組みの経緯と認識について (要旨) 平成20年に創設され5年経過し、各自治体の取り組み方で大きく格差が広がっている。これまでも、たびたび本会議や委員会で早急な取り組みを指摘されながら、本年度も市のふるさと納税の形が見えないが、これまでの取り組みと市の考え方についてお答えください。</p> <p>(2) ふるさと納税と明石ブランド発信について (要旨) ふるさと納税の最大の特徴は、日本で唯一税金の使い道を自分で決められる制度にあります。自分の意志で楽しみながら、全国の自治体支援もできるとなれば、その地にしかない産品や事業、サービスに対する共感や感動と、参加していただくための魅力が必要です。ふるさと納税は明石ブランド発信の絶好のツールと考えるが、市の考え方についてお答えください。</p>			

発言順位	15	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(3) 平成28年度当初予算について (要旨) 平成28年度当初予算に昨年同様の予算が計上されている。平成27年9月議会の答弁では、本年1月から実施できるように検討を進めているとありましたが、実施されていません。地域創生と税収増の施策として全国の自治体は工夫を凝らして取り組んでいます。実施時期について明確に設定をすべきではないかと考えるが、市の考え方についてお答えください。</p>		
	<p>3 大久保町北部の交通政策について</p> <p>(1) 大久保町茜の交通安全対策について (要旨) 大久保町北部の区画整理が完了しましたが、交通量の増加と道路網の変化により交通事故件数が増加し、死亡事故も発生しております。茜1丁目、2丁目の南北・東西の交差点で、幅員・歩道ともに同じで、優先道路規制がないところでの事故が発生しています。通学路でもあり、一体的な安全対策が必要と考えるが、市の考え方をお答えください。</p> <p>(2) 大久保町北部の公共交通網の整備と交通弱者対策について (要旨) 山手環状線と江井島松陰新田線の一部が整備され、スーパーマーケット、ドラッグストアなどが誘致されるとともに、住民の生活の足であるバス路線のアンケートが実施されました。高齢化率の高い神明住宅や緑が丘・山手台などの地理的な要因で発生する交通弱者対策については住民の声を生かした取り組みが必要であります。市の考え方についてお答えください。</p> <p>(3) 国道2号大池東交差点の西行き右折車線新設について (要旨) 国道2号線の大池東交差点については東播磨県民局加古川土木事務所の所管ではあるが、地元住民や自治会から慢性的な渋滞や歩道への乗り上げによる歩行者の安全対策の要望があります。また、南側歩道の傾斜角度が大きく、改善の要望が多く寄せられております。明石市と県土木事務所の連携で早期の対策が必要と思いますが、市の考え方についてお答えください。</p> <p>(4) 江井島松陰新田線の延伸計画について (要旨) 都市計画道路として長年の懸案であった江井島松陰新田線については、県の見直し後も整備計画として存続しております。平成28年度予算で調査費が計上され、以前から早期開通を要望してきた経緯もあり、一歩前進の期待は大きいところです。今後の計画と神戸市との協議についてお答えください。</p>		

発言順位	16	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<p>1 市街化調整区域等の有効活用と見直しについて</p>		
	<p>(1) 市街化調整区域等の現状について (要旨) 市街化調整区域は、都市計画を考える上で開発を抑制していく地区である。この開発規制が人口減少、そして既存集落の形成、地域コミュニティの存続に大きな影響を与えている。市内の現状について、市の認識はどうか。</p> <p>(2) 市街化調整区域等の有効活用について (要旨) 市街化調整区域内で、農地を守る場所と開発可能な地域を整理するなどして、市の権限の範囲内で有効に活用する方法はないのか。</p> <p>(3) 市街化調整区域等の見直しについて (要旨) 都市計画法上、市街化区域・市街化調整区域の線引きについては県に権限がある。地域の実態に沿った見直しをするためにはどうすればよいのか、市の見解を問う。</p>		
発言事項	<p>2 依存症対策について</p>		
	<p>(1) 子どもの依存症対策について (要旨) 最近、子どものネット依存、とりわけスマホ依存の深刻な実態が伝えられているが、どのように認識しているか。保護者や学校の役割、保護者や関係機関との連携強化など、予防・治療対策について問う。</p> <p>(2) 大人の依存症対策について (要旨) アルコール、薬物、ギャンブル、インターネット、その他にもゲーム、買い物、恋愛など、依存症には多くの種類がある。依存症は病気であって、正しく治療すれば回復できる。しかし、特定のことに對して、やめられない、離れられないという症状から、表面的には意志の弱さであると勘違いされることが多い。そのため、周囲の人も、そして本人でさえも、頑張れば自力で治せると思いがちだと言える。実はこれが回復を遅らせることにつながっている。早期発見・早期治療が必要であると考えているが、依存症の予防や啓発の取り組みについて問う。</p>		

発言順位	17	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	1 「本のまち明石の推進」について		
	<p>(1) 大久保地域にも子どもの読書の拠点となる施設の設置を。 (要旨) 平成28年には再開発ビルにあかし市民図書館が開設され、以前より魚住地域には市立西部図書館、二見地域にはふれあいプラザ明石西があることから、大久保地域にも子どもの読書の拠点となる施設が必要である。</p> <p>(2) 子ども図書館「みなくる」の名称は、再開発ビル内で残していけるか。 (要旨) みなくるは、市民からも愛され定着しているため、新たにできる再開発ビル内の図書施設に名称を残すべきである。</p> <p>(3) 「ブックスタート事業」の内容について (要旨) 新年度から、待望のブックスタート事業が開始されるが、事業の詳細について聞く。</p>		
発言事項	2 男女共同参画課における女性の活躍推進事業及び結婚総合支援事業について		
	<p>(1) (仮称)あかし女性活躍推進ネットワークの構築について (要旨) 2月14日に開催されたあかし女性応援フォーラムを受け、速やかな(仮称)あかし女性活躍推進ネットワークの構築が必要である。</p> <p>(2) 新年度にスタートする結婚総合支援事業について (要旨) 婚活イベントの支援と並行して、適齢期の子どもを持つ親のための講演会等を開催し、成婚ができる環境づくりが必要である。</p> <p>(3) 「(仮称)あかし出会いサポートセンター」の設置と「お節介人」の人材育成について (要旨) 独身者を応援するお節介人の人材育成が必要であり、拠点となる(仮称)あかし出会いサポートセンターの設置が必要である。</p>		

発言順位	18	議員名	井藤圭湊（真誠会）
発言事項	<p>1 市制施行100周年・明石城築城400年に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 市制施行100周年・明石城築城400年に向けた取り組みの基本的な考えと進捗状況について (要旨) 市制施行100周年・明石城築城400年は本市にとって、近年にないかけがえのない事業である。本市の基本的な考え方とその事業の進捗状況を伺いたい。</p> <p>(2) 市制施行100周年・明石城築城400年の事業を推進するに当たり、市民・兵庫県との連携について (要旨) 市制施行100周年・明石城築城400年の事業は、本市にとって100年に一度の飛躍をする踏み台的な位置づけと考えれば、市民や兵庫県との連携は絶対に必要であると思われませんが、その考え方について伺いたい。</p> <p>(3) 明石のまちの成り立ちにも関係する松本市、北九州市（小倉）などとの連携と提携に対する考え方について (要旨) 小笠原忠政公が明石城を築城して400年の歴史的経緯を踏まえ、小笠原公の前任地の長野県松本市、転封先の北九州（小倉）との連携を図ることは、明石市民にとって歴史の検証と明石城に対する愛着を抱く絶好の機会であることから、歴史的経緯に基づいて両市との交流の提携について伺いたい。</p> <p>(4) 市制施行100周年・明石城築城400年の事業推進のために、担当部署を設置する考えはないのか。 (要旨) 事業推進のためには、担当部署を設置して具体的に内容を協議して積み上げていく必要性を痛切に感じるが、市はどのような思いを持っているか伺いたい。</p> <p>2 （仮称）更生保護フェアについて</p> <p>(1) （仮称）更生保護フェアの開催について (要旨) 犯罪者の社会復帰支援、更生保護事業については、社会を明るくする運動などがあり、本事業も更生保護の一端かと思われるが、フェアの開催の目的と具体的な内容について伺いたい。</p> <p>3 たこリンピックの開催の取り組みについて</p> <p>(1) たこリンピックの開催時期、開催内容について (要旨) 全国各地のタコの産地をリストアップし、たこリンピックを開催する時期、内容等について伺う。</p>		

発言順位	18	議員名	井藤圭湊（真誠会）
発言事項	<p>(2) どの産地に呼びかけ、どのような基準で、どのような自慢のタコの料理が展開されるのかを伺う。 (要旨) 全国各地のタコの産地をリストアップされていると思われませんが、どのような基準で、どのような産地、どのような自慢のタコの料理が展開されるのか。また、日程調整等の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 関係団体との連携について (要旨) たこリンピック開催にあたり、地元の漁業協同組合、飲食業組合、商店街連合会等関係団体との連携は必須の条件であるが、どのような展開を図ろうとするのか、その進捗状況を伺いたい。</p>		

発言順位	19	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>1 がん検診受診率向上に向けて</p> <p>(1) 現在の明石市の5大がんの検診受診率はどの程度か。また、検診受診率向上への施策について (要旨) がんの検診受診率を向上させることが、早期発見につながり、医療費の抑制にもつながっていく。明石市として検診受診率向上に向けてどのような施策を講じておられるのか。</p> <p>(2) 明石市において、国のがん対策加速化プランの個別受診勧奨や再勧奨の強化、また、かかりつけ医からの個別勧奨の推進をしないか。 (要旨) 検診受診率向上へ個別受診勧奨の強化、かかりつけ医からの個別勧奨、また、精密検査受診の徹底のため、未受診の人に対しての再勧奨を推進しないか。</p> <p>(3) 検診受診率が向上する講習会を活発に開催しないか。 (要旨) 体験者からの事例発表及び医療関係者からのがんの知識を得られる講習会をどんどん開催し意識啓発をしていかないか。</p> <p>2 ジェネリック医薬品の推進について</p> <p>(1) 明石市のジェネリック医薬品の普及率はどうなっているのか。また、普及率の目標値と現在行っている推進施策は。 (要旨) ジェネリック医薬品の普及は、健康保険料の抑制に大きな効果があると言われている。本市の普及率と推進施策をお聞きしたい。</p> <p>(2) 奈良県生駒市では、ジェネリック医薬品の推奨薬局認定制度を実施されて、普及率向上に取り組んでいるが、本市においても実施しないか。 (要旨) ジェネリック医薬品の普及率を向上させるためには、行政から薬局への積極的な働きかけが大きな効果があると思う。推奨薬局認定制度を実施しないか。</p> <p>3 広報あかしの配布方法について</p> <p>(1) 広報あかしの配布方法を、新聞折り込みから個別配布に変更しないか。 (要旨) 新聞購読者が、以前より減少傾向になっている。広報あかしを見ていない市民の方によく出会うようになった。この際、個別配布に変更してはどうか。</p>		

発言順位	20	議員名	北川 貴 則 (市民クラブ)
発 言 事 項	1 福祉の充実について		
	<p>(1) 老人ホームの待機解消はどのように考えているのでしょうか。 (要旨) 本市での待機状況と今後の対策をお聞きします。</p> <p>(2) 子どもの貧困解消はどのように取り組まれているのでしょうか。 (要旨) いまだに絶えない子どもの命を脅かす虐待などでは、その親は児童手当などを本来の目的以外に費やすなど、子育てをおろそかにする傾向が見受けられます。子どもは国の宝ですから、誰もが同じ教育や物資を享受されることを願います。また、親の貧困の影響から生じる中退の問題などについてもお聞きします。</p>		
	2 住むところと働くところづくりについて		
<p>(1) 人口増策になくってはならない住宅供給策はどのように考えているのでしょうか。 (要旨) 無計画で人口はふえません。かつての大久保町（旧マイカル地区）のように民間活力で3, 0 0 0世帯、1万人が急増した成功例を積極的に人口増策として推奨すべきです。市長のまちづくり方針は人口をふやすことにも触れております。市の考えをお聞きします。</p> <p>(2) 企業誘致や地場産業振興策はないのでしょうか。 (要旨) 所得が上がれば生活はより豊かになります。所得が上がれば笑顔もふえます。本市はかつて人工島などの工業団地にも着手しておりましたが、近年は目新しい雇用改善策が見受けられません。働くところづくりの企業誘致や地場産業振興策に対する市の考えをお聞きします。</p>			
3 市東部地区のたこバスについて			
<p>(1) 交通不便地域へのさらなる運行について (要旨) たこバスは交通弱者の方々に好評です。ただ、市東部地区の高低差の激しい地域では、いまだルートの充実がなされず、さらなるルート延伸の期待が高いと聞いております。今後の取り組みについてお聞きします。</p>			